

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Jun.2011

6

No.608



特集

「信頼」ということ

久しぶりの「おんぶ」

翁島小学校の運動会は5月28日、同校で開催されました。親子競技では、子どもと二人三脚をしたり、おんぶをしたりと、お父さんやお母さんも大活躍。久しぶりにおんぶしたわが子。その重さに確かな成長を感じ取ったに違いありません。(関連 10 ページ)

Proud!

我が国や地域の発展を応援しよう

Japan

特集

「信頼」ということ

信頼していたものは、
 もろくも崩れ去った。
 世界一の堤防は、
 大津波に飲み込まれた。
 国が安全だと言い続けた原発は、
 そのもろさを露呈した。
 いずれも過去の経験則や
 最先端のシミュレーションにそって
 対策を進めた防災施設。
 その安全神話が崩壊した今、
 私たちは一体何を信頼すればいいのか。

建物の中は、放射線量が5
 ～10分の1になると言わ
 れていたが、最近の計測値
 では2～3分の1程度

町内放射線量測定値(5月31日現在) 単位: マイクロシーベルト毎時(μSv/h)

猪苗代地区					吾妻地区								
猪苗代町役場	猪苗代小学校	猪苗代幼稚園	猪苗代スキー場	川上登山口	吾妻小学校	吾妻幼稚園	小田地区	許川野地区	中ノ沢保育所	達沢地区	高森地区	旧市沢小学校	
0.166	0.205	0.184	0.272	0.263	0.242	0.337	0.335	0.353	0.259	0.307	0.275	0.493	
翁島地区			千里地区				月輪地区			長瀬地区			
翁島小学校	翁島駅	長浜	千里小学校	猪苗代中学校	猪苗代駅	西館地区	緑小学校	みどり幼稚園	志田浜	長瀬小学校	東中学校	伯父ヶ倉地区	
0.177	0.171	0.165	0.144	0.168	0.136	0.133	0.165	0.152	0.116	0.140	0.147	0.185	

※地上1mの高さで測定。測定機器は環境放射線モニタ Radi (HORIBA) を使用しています。

芝生ややぶの中などは放射
 性物質が残りやすいため、
 比較的放射線量が高い。
 この日は0.232 μSv

見えない脅威



目に見えない脅威は、私たちのすぐそばにある。姿すら見えないものに私たちの生活を、古里を奪われてたまるか。私たちがこれからもこの町で暮らしていくためには、放射性物質についての正しい知識と理解、そして信頼できる情報が必要だ。

いるのだと言える。目に見えないならば、取り除くことも避けることもできないが、それができない。それならば、私たちにできることは、放射性物質について正しい知識と理解を持ち、被ばくを最小限に食い止めることだ。

最新の調査から正しい知識を

最新の調査や研究では、これまで私たちが知らなかった事実が明らかになった。空間放射線量の測定は、空気中の放射線量、つまり外部被ばくの影響を測定しているだけである。呼吸や食物の摂取などによる内部被ばくの影響は別に考える必要がある。つくば市の高エネルギー加速器研究機構（KEK）の調査によれば、呼吸による内部被ばく量は、ちょうど外部被ばくと同じくらいと計算されている。つまり、私たちの本当の被ばく量は、空間放射線量の2倍からそれ以上であると考えなければならぬ。放射性物質は、ちりやほこりのように積み重なる。同じように私たちの体への影響も蓄積していく。被ばく量は、

不安の解消には正しい情報を

掃き掃除や水ぶきなどで減らせることも分かっている。累積被ばく量を減らし、自分の身を守るためにできることは積極的に実施してほしい。町でも町民の皆さんの安全を守るため、空間放射線量のモニタリングや情報収集などを継続して実施し、随時発表していく。

不安の解消には正しい情報を

原発事故の発生直後、東京電力（以下、東電）や国はすべての情報を公開しなかった。記者会見はしていたが、真実は語られず、重要な情報が隠されていたことが最近になって続々と判明している。私たちの「不安」を解消するために必要なのは、信頼で

放射性物質、放射線、放射能の区別と用語の解説

【放射性物質】	空気中の微粒子で放射線の発生源
【放射線】	放射性物質から放出される、高いエネルギーを持った電磁波や粒子線のこと。人体などに影響を与えるのは、この放射線
【放射能】	放射性物質が放射線を発生する能力のこと

※外部被ばく…空気中に漂うもの、地面や建物に降下したもの、衣服や皮膚に付着したものなど、体の外にある放射性物質から受ける放射線の影響を外部被ばくという

※内部被ばく…放射性物質の微粒子を吸いこんだり、汚染された水を飲んだり、食物を食べたりして体内から放射線の影響を受けることを内部被ばくという

安心・安全な農作物だけを作りたい それが消費者との信頼関係を守る



宮農組合 結乃村農楽団
五十嵐勇夫 副組合長

【結乃村農楽団】
「集落の農地は集落の住民で守る」「低コスト・高品質・高収益・高信頼化の農業を、農業者・非農業者にかかわらず、集落の住民全体で行い、集落全体で豊かになる」などを目標に、町内見栄地区の全42戸が参加して設立。主に米やアスパラガスなどを生産し、横浜市などの直接販売先に販売。都市間交流を図るとともに、消費者が安心して購入し食べることができる、顔の見える生産・販売活動を実践している。

福島第一原発の事故で、23年度に計画していた新規事業は、すべて無期限延期になりました。原発事故が終息し、安心・安全が確認されないと難しいという理由です。

そして、私たちがそれ以上に心を痛めているのが、見栄の農産物を「おいしい」「安心できる」と食べてくれる直接販売先のお客さんたちのことです。特に横浜の団地の皆さんとは、住民ぐるみで交流を図るなど、お互いに無くてはならない関係を築いてきました。

上がりました。一方で、「生活のため、農産物の生産・販売活動をやめる訳にはいかない」「国や東電がきちんと補償をしてくれば、汚染された農作物は作らない」という声も聞かれます。幸いにも、今、私たちが作っているアスパラガスからは放射性物質は検出されていません。しかし、これから作るものには、どう放射能が影響してくるかは分かりません。今まで安心・安全な農作物を作り、消費者との信頼関係を守ってきた私たちが、今後は放射線物質が検出されないことを祈ります。

原発事故の一刻も早い収束を望むとともに、胸を張って安心・安全な農作物を生産・販売できる日を迎えたいと願っています。

風評被害の改善に向けて

原発事故のもう一つの影響、いわゆる風評被害は、本町の主要産業である農業と観光にも悪影響を及ぼしている。

5月31日現在、本町の農作物は出荷制限や摂取制限は受けていない。最近の放射性物質の調査結果でも、山に自生するネマガリタケ（姫筍）から約50ベクレルが検出されたにとどまっている。

本町よりも出荷時期の早い県内の農作物では、一部から放射性物質が検出され、出荷制限や摂取制限といった措置

が取られている。暫定基準値を超えた農作物は店頭には出回らないが、県産というだけで消費者に敬遠される、安値で取引されるなど、事態は一段と深刻になっている。

観光業などでは、夏の合宿や冬の修学旅行などの団体客が減少。個人の観光客も含め、来町者が3割から5割程度減っており、依然厳しい状況が続いている。

町では、5月18日に風評被害対策委員会を立ち上げ、対策と検討を重ねている。2回の会議を終え、安全・安心をPRし、販売促進や観光誘客を図るため、首都圏でのキャンペーン、イベントの開催やプレミア付き商品券の発行などを決定した。

まもなく農作物の生産が本格化し、観光シーズンともなる時期を迎える。観光客が安心して訪れ、消費者が信頼してくる、以前の猪苗代町を取り戻すため、全力で対策に取り組まなければならない。



風評被害対策にどう取り組むべきか、約50人の委員が検討を重ねる風評被害対策委員会の様子

Interview

生活再建

被災した皆さんの生活を再建するため、復興への第一歩を踏み出す手助けを一。 国、県や町の各種支援制度を紹介。

生活再建資金の融資

○生活福祉資金

民生委員と社会福祉協議会の生活支援により、経済的自立と生活の安定を図るための貸付制度。

【総合支援資金】

失業などによる生活の立て直しのための生活費の貸付

【福祉資金】

低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯に対し用途に応じて貸付

【教育支援資金】

低所得世帯に対し、就学などに必要な経費の貸付

【不動産担保型生活資金】

低所得の高齢者世帯に対し、不動産を担保に貸付

※詳しい内容や要件については、問い合わせ

■社会福祉協議会 ☎(62)5168

○災害援護資金

住居や家財に被害を受けたり、世帯主が負傷したりした一定所得以下の世帯に対して援護資金を融資。

●貸付限度額 350万円

●利率 保証人がいれば無利子。

いない場合は年1.5%

●据置期間 6年以内

●償還期間 据置期間を含む13年以内

■保健福祉課 ☎(62)2115

保険料などの猶予

○医療や年金の保険料の納付

住宅が全半壊などの被災をした人。主たる生計維持者が死亡・行方不明・失職などで無収入の人などが対象。保険料の納付が困難な場合、医療保険料、年金保険料、介護保険料や障がい福祉サービス利用者負担の納付猶予や減免など。早めの手続きを。

■町民生活課 ☎(62)2114

■会津若松年金事務所

☎(27)5321

■保健福祉課 ☎(62)2115

就学・就職の支援

○無利子の奨学金を貸与

災害や保護者の失職などによって家計が急変した学生に無利子の奨学金を貸与。

■在学している各学校の奨学金担当部署に問い合わせ

○職業能力の開発を支援

被災した人の就職を支援するため、建設関連分野などの公共職業訓練の拡充。公共職業能力開発施設で実施する学卒者訓練や在職者訓練の受講料などの負担軽減

■ハローワーク会津若松

☎(26)3333

■会津職業能力開発促進センター

☎(26)0515

住まいの再建支援

○被災者生活再建支援金

災害で住宅が全壊するなど、著しい被害を受けた人。支給額は①②の支援金の合計額(ただし、単身世帯は4分の3の額)。

- ①基礎支援金
全壊 100万円
大規模半壊 50万円
- ②加算支援金
建設・購入 200万円
補修 100万円
賃借(公営住宅を除く) 50万円

■総務課 ☎(62)2111

農林事業者の支援

○原発事故対策緊急支援資金

原発事故に伴う収入減少などで農業経営に影響を受けている農業経営者を

- 貸付限度額 個人 500万円
団体 700万円
- 利率 1.2%以内(農協取り扱いは無利子)
- 据置期間 3年以内
- 償還期間 据置期間を含む10年以内
- お近くの金融機関(農協、福島銀行、大東銀行など)

○農業経営復旧の金融支援措置

被災した農業経営者が、中長期の運転資金、農業用機械・施設の修理や導入などのために、一定期間(最大18年間)実質無利子、無担保、無保証人で融資が受けられるよう国が支援

■日本政策金融公庫

☎0120(154)505

■お近くの金融機関

(農協、銀行、信用金庫など)

中小企業・自営業

○雇用保険の失業給付を拡充

被災して離職した人だけでなく、休業を余儀なくされた人にも雇用保険の基本手当を支給。通常の支給日数の終了後、原則60日の延長に加えさらに60日延長。

■ハローワーク会津若松

☎(26)3333

○東日本大震災復興特別貸付

被災した生活衛生関係営業者(※)

県税の優遇措置について

○申告・納付などの期限延長
3月11日以降に到来するすべての県税の申告・納付などの期限を延長。

○自動車税の定期課税の延期
23年度の自動車税の定期課税(例年5月課税・5月末納期限)が延期。期間はあらためてお知らせ。
延期している間に車検有効期間が満了する自動車については、22年度の納税証明書で車検を受けることが可能。

○被災した自動車の代替自動車の自動車取得税・自動車税の非課税

震災で滅失・損壊した自動車の所有者が、その自動車の代わりの自動車(代替自動車)を3月11日から26年3月31日までの間に取得した場合、代替自動車の自動車取得税と23年度から25年度までの自動車税が非課税(取得した代替自動車を主に設置する都道府県の認定を受ける必要あり)。
3月11日から現在までの間に、すでに代替自動車を取得した人は、代替自動車を主に

設置する都道府県に申請することで、納付した自動車税の還付を受けることが可能。
※震災による被災車両のうち抹消登録したものの自動車税は非課税、これ以外および原子力発電所の事故に伴う避難地域などにおける自動車税の取り扱いについては、県で検討中。

○被災した家屋に代わる家屋などを取得した場合の不動産取得税の軽減措置

震災で滅失・損壊した家屋(被災家屋)に代わる家屋を取得した場合や被災家屋の敷地に代わる家屋用の土地を購入した場合、被災家屋、被災家屋の敷地面積分の不動産取得税は課税されない。

軽減措置などを受けるため、手続きが必要になる場合あり。詳しい内容や震災に関する県税の取り扱いなどについては、会津地方振興局まで。

○問い合わせ先(不動産取得税)
課税第一課 ☎(29)5254
(自動車税・自動車取得税)
課税第二課 ☎(29)5261
(納税証明書)
管理課 ☎(29)5235

町税などの減免には申請が必要です



猪苗代町税務課 齋藤 憲郎 課長

震災で家屋などに甚大な被害を受けた皆さんに、税の減免制度についてお知らせします。固定資産税は、家屋の損害の程度によって減免の制度があります。また、所得税の確定申告に雑損控除として計上できます。申告の結果は町県民税にも反映されますが、町で住民税申告だけをしている人は、手続きが必要になります。

所得税については、会津若松税務署が6月16日に町役場で開く説明会にお越しください。

大災害を乗り越えた過去から学ぶ

想定外の大噴火を乗り越えた一。
この町にはその経験がある。
お互いを信頼し合い、復興を遂げた一。
ここにはその財産がある。
信頼というものが
私たちに何をもたらしてくれるのか
今こそ過去に学ぼう。

爆風によって家屋がなぎ倒されるなど、町内各地に大きな被害をもたらした。

想定外の大災害 日本が一つに

本町は、過去にも想定外と言われる大災害に見舞われたことがある。1888(明治21)年7月15日に起こった、磐梯山の噴火だ。
この噴火の原因は、大規模な水蒸気爆発。しかも、その爆発が小磐梯の山体崩壊を引き起こし、岩屑なだれとなって被害を拡大させた。477人の犠牲者を出した、明治以降の近代日本初の災害で、町内の長坂地区では、岩屑なだれが押し寄せ、住民の半数以上が亡くなった。渋谷地区では、火山灰や小石を含んだ

被災者には、凶作時の農民救済制度の色合いが強かった。備荒儲蓄金が支給されたが、緊急的に支出できないなど災害時にそぐわない制度だった。これを補ったのが天皇、皇后両陛下からの恩賜金と国民からの義援金だった。義援金

は新聞などのメディアによる社会貢献活動の先駆けで、54の新聞社と約6万人の国民から、総額約3万8千円が集まった(現在の金額で約15億円に相当する)。備荒儲蓄金の規程によらず、全壊した家には一戸当たり30円以内を支払うなど、被災者の窮状を救う大きな役割を果たした。
戦争時の傷病者救済活動のために設立した日本赤十字社は、この噴火に際して3人の医師を派遣し、世界で初めての「災害救済活動」として被災者の救済にあたった。

また、この災害を知った東京大学医学部の大学院生2人が、大学の許可をもらい私費で救済活動に駆けつけ、日赤の活動を手伝った。まだボランティアという言葉すらなかったこの時代に2人がとった行動は、災害ボランティアの先駆けと言える。

明治政府も当時最高の研究者、技術者や行政担当者を結集し、国を挙げて調査、救済や復旧に尽力した。難を逃れた住民は、率先してその手伝いをし、現地の案内を買って出た。そのため、日本初の地震学者、関谷清景らにより写真、論文などの詳細な記録が残されることになった。

災害からの復興 そのためには

磐梯山の噴火という想定外の大災害に対して、国、国民と地域住民が力を合わせ、そして乗り越えた。この経験から学ぶものは大きい。

本町と北塩原村は、その後、見事な復興を遂げた。災害によってできた地形を観光などに利用し、農業と観光の町を作り上げ、現在まで発展を遂げてきた。復興は、先人たちの必死の努力の成果。国と協力し、お互いを信頼し、尊重し合い、助け合いながら復興への道のりを歩んだ結果だ。

よく言われることだが、人間は、一人では生きられない。さまざまな人との関わりや信頼関係が互いに人を生かして

いる。そのつながりを大切にすることが、復興には欠かせない。

本町は会津地方の入口に位置し、放射線被害を受けている被災地であると同時に、浜通りや中通りなどからの避難者を受け入れ、支援をする後方支援の拠点でもある。

信頼できる情報を集め、公表しながら、町民が安心して暮らせる町を作ること。それは避難場所や支援拠点として避難者からも信頼される町づくりを進めていくことに他ならない。今、この町に暮らすすべての人と信頼関係を築き上げ、協力し合い、共に歩むことが復興への近道だ。

特集 「信頼」ということ 終わり

人と人が支え合う「信頼」
信じよう。そのあたたかさを

今回の福島第一原発の事故で、原子力発電は安全だという安全神話は崩れ去った。しかし、そんなものもともと無かったのだ。
どこまで行っても絶対に安全、絶対に安心ということとはありえない。それを根底におきながら安全対策を進めていくことが必要だ。



津金 要雄 町長

生活をしてきた。人間の限りない欲望をすべて満たさうとすればきりが無い。そうした生き方を反省し、本当の豊かさとは何かということをもう一度見つめ直す時に来ている。

現在、原発事故で感じている不安感。それを払しょくするためには、原子力を使わない、原子力に頼らない生活をする必要がある。経済成長を第一として原子力発電を容認し、電気を使いたい放題使ってきた価値観を変える。その決意がなければ、安全・安心な信頼できる未来像は見えて

こないだろう。
町が進めてきた有機の里構想は、地域資源である人、物、お金や情報などを地域内で循環させ、地域で自立しよう、地域内で得られるものを最大限に生かして、生活を豊かにしようということ。これこそ安全・安心を得るための具体的な手段であると理解して、今後も協力をお願いしたい。

普段からの近所付き合いや地域のコミュニケーションが、万が一の時にお互いを助けてくれる。そういった意味では、安全・安心は自分で作るものだと言えなくもない。
今回の震災で、住民がお互いに助け合うことの大切さを再確認した。安全・安心を手に入れるためには、人と人とのつながりが一番大切。人と人が信頼し合う、支え合う。その中に安全・安心を見出し出すことが必要だ。

信頼し合い、支え合う
その中から安全・安心を見出し出す



浪江町役場 猪苗代連絡所

鈴木 政己 主任

この度の災害では、猪苗代町の皆さんにいろいろとお世話になり、大変感謝しています。この町に来て、人と人とのつながり、やさしさやありがたさを感じるような、あたたかい支援を頂いています。現在、猪苗代町には約2000人の浪江町民が生活しています。仮設住宅に入居するまでの間に、浪江町民と猪苗代町民との交流が深まれば良いと思います。



写真上 本町を訪れた小澤孝延さん(左から2人目)と山本樹さん(左端)から食材を受け取った土屋教育長ら
写真下 頂いた食材は給食となり、町内の子どもたちに元気を与えました。

子どもたちに勇気と元気を

千葉県八街市の市民や農業、商工関係者で組織する、被災地復興八街市民会議(小沢定明代表)は5月22日、町内の児童や生徒に食べてほしいと学校給食用の食材を寄贈しました。

同会議では「八街特産農産物を被災地の児童生徒へ送ろうプロジェクト」を立ち上げ、この度の震災で被災した子どもたちに給食用の食材を送る活動をしています。今回の寄贈では「八街特産の農産物を食べて、被災した児童や生徒に勇気と元気を取り戻してほしい」との願いを込め、玉ネギ、大根、小松菜やニンジンなど、20品目約2トンの野菜などが贈られました。

土屋重憲教育長は「皆さんの取り組みに敬意と感謝を申し上げます。本日頂いた八街特産の農産物は、町内すべての学校で給食用の食材として利用させていただきます」と感謝を述べました。



写真上 吾妻小学校の紅白対抗リレー。学年の違う児童たちがチームワーク良くバトンをつなぎました
写真下 応援する保護者のほうも力が入りました。猪苗代小学校のつなひき

町内5小学校で歓声が響く

猪苗代・翁島・千里・緑・吾妻小学校の運動会は5月28日、各校で開かれ、子どもたちの歓声と保護者らの声援が校庭に響き渡りました。運動会の様子を写真で紹介します。

【猪苗代小】「ガッツ猪小 羽ばたけ紅白」をスローガンに、294人が21種目に挑戦しました。例年、運動会を盛り上げるPTAの競技の代わりに「騎馬戦」や「つなひき」などが会場を沸かせました。

【翁島小】「全力で 目指せ自分の一等賞」をスローガンに、85人が28種目に汗を流しました。会場では、PTA役員が東日本大震災の募金箱を設置し、保護者や来賓などから募金を募りました。

【千里小】183人が17種目に取り組み、楽しそうな笑顔で競技に挑みました。伝統の「千里競輪」や「ちょっと！糸取ってきて！！」などに保護者から盛んな声援が送られました。

【緑小】「届けよう！緑っ子のがんばりを東北へ！！」

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上、左 走るイメージが強い陸上競技ですが、運動能力のほかに高い技術も要求されます。写真は男子共通走高跳と女子共通砲丸投げ
写真右 男子共通200m走で自己ベストを目指す選手たち

自己記録目指し全力尽くす

北会津管内中学校体育大会陸上競技大会は5月16日、町運動公園陸上競技場で開催されました。

北会津管内中学校体育連盟、町教育委員会、磐梯町教育委員会の主催で開かれたこの大会には、猪苗代、磐梯両町の4中学校から、男女合わせて207人が出場。晴天の中、自己ベストを目指して全力を尽くす姿に、生徒や保護者から大きな声援が送られました。学校総合では、共通4×100mリレーなどを制した猪苗代中が男女とも優勝を果たしました。



をスローガンに88人が18種目に全力を尽くしました。最終種目の全校リレーでは、児童も保護者も大変な盛り上がりを見せました。

【吾妻小】「感動と笑顔いっぱい運動会～震災に負けないで手をつなごう～」をテーマに、119人が25種目に挑みました。「吾妻ハリケーン」や「I LOVE ふくしま」などで熱戦を繰り広げました。

写真左上 「ゴール！」声援にこたえ、徒競走で全力を尽くした千里小学校の1年生たち
写真中上 翁島小学校の絆をたしかめ ラブちゅ〜にゅう。5、6年生の親子が仲良く二人三脚
写真中下 緑小学校の「紅白玉入れ1.2.3!」には1～3年生が登場。勝利を目指して頑張りました。
写真右下 各学校で運動会のために裏方として頑張る児童の姿が見られました(写真はアナウンスを担当する児童：吾妻小)





住民の命と財産を守り抜く

消防団春季検閲で訓練の成果披露



猪小での訓練に先立ち、町内を行進する消防団員ら

町消防団の春季検閲は4月29日、猪苗代小学校で開催され、町内6分団から385人が参加しました。団員らは、小学校での訓練に先立ち町内をパレード。中央商店街などを行進し、町民に日ごろの訓練の成果などを披露した後、小学校での規律訓練などに臨みました。訓練後には土屋孝彦消防団長が「東日本大震災で犠牲となった団員たちは、最後まで住民を守ろうと必死で頑張った。仲間の冥福を祈るとともに、住民の命を守ることへの責任と誇りを持って消防活動に取り組んでほしい」とあいさつ。防災への誓いを新たにしました。

農村環境向上活動に表彰状

長坂ふるさと資源保存会に表彰状



受賞を喜ぶ黒澤会長(左)と渡部庶務(右)

福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会の優良活動組織として表彰を受けた、長坂ふるさと資源保存会への表彰状伝達は5月16日、同地区の長坂集会所で催されました。

この表彰は3月12日、県土地改良会館で開催される予定でしたが、東日本大震災の影響により開催できなくなったものです。

町農林課の石川洋一課長らが同集会所を訪れ、黒澤孝会長と渡部透庶務らに表彰状と盾を手渡しました。黒澤会長は「取り組みが評価されてうれしい。受賞を励みに、今後も地域が一丸となって環境の向上に努めていく」と抱負を述べました。

水質日本一の復活のために

LCが草刈りフォークなどを寄贈



津金町長から山口ガバナー(右)に感謝状が送られました

ライオンズクラブ国際協会332-D地区(山口一男ガバナー)の第57回年次大会は5月15日、学びいなかで開かれ、県内の各ライオンズクラブ(以下 LC)から約450人が出席しました。

LCは、今大会の記念活動として、猪苗代湖の水質改善に役立ててほしいと草刈りフォークとローダンプを町に寄贈。大会の席上で津金町長に目録を手渡しました。このフォークは、パワーショベルに装着してヨシの刈り取りを可能にする特殊な機械。猪苗代湖の北岸に群生し、水質汚濁の一因にもなっているヨシの除去に力を発揮することが期待されます。

東日本大震災の犠牲者弔う

亀ヶ城桜祭りで慰霊祭などを実施



なみえ焼きそばの振る舞いは大人気。古里の味をもとめて長蛇の列ができました

亀ヶ城桜祭りは5月1日、亀ヶ城公園みんなの広場をメイン会場に開かれました。同イベントは、HOPE猪苗代(田原幸雄代表)の主催、商工会町支部、(社)猪苗代観光協会やライオンズクラブ国際協会332-D地区などの共催。

ことしの桜祭りでは、コンサートなどのイベントのほか、支援物資の提供、なみえ焼きそばやとん汁の振る舞いなどを実施。東日本大震災の影響を受け、町内で避難生活を送る人たちを勇気づけました。

また、震災の犠牲者を供養するために執り行われた合同慰霊祭では、地震の発生した日にちなみ、2011本のろうそくと311本のたいまつで「2011.3.11」の数字を浮かび上がらせ、被災者の霊を慰めました。



被災者らが追悼の言葉や復興への誓いなどのメッセージを添えたりろうそくで作られた「2011.3.11」の文字



祈るような気持ちで黙とうをささげる家族。実家が津波の被害に遭い、ご両親がまだ見つからないと話した

町の農業振興の拠点として

町地域農業活性化センターが開所



開所式で式辞を述べる津金町長

18年3月に閉鎖し、町が利活用を検討してきた県農業試験場冷害試験地が改修を終え、町地域農業活性化センター(愛称は「アグリいな」に決定)として生まれ変わりました。

開所式は5月12日、同施設で開かれ、関係者など約40人が出席。津金要雄町長が「6次産業化(※)を推進する施設として活用したい」と式辞。鈴木武喜町会議長、遠藤亨県会津農林事務所長、小松山善継県議らが祝辞を述べました。

同施設は、農業経営改善支援センターとしての役割のほか、体験農業など交流事業の拠点としても活用されます。

※6次産業化…生産(1次産業)だけでなく、食品加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)にも主体的・総合的に関わり合うことで付加価値を高め、活性化につなげていこうという考え方。



磐梯山に登山シーズン到来

例年より2週間遅れで磐梯山開き



残雪を踏みしめながら山頂を目指す登山者ら

県を代表する名峰磐梯山(1,816m)の山開きは5月22日に開催され、約1,500人の登山者が山頂を目指しました。

猪苗代登山口では、関係者や登山者らが参加して安全祈願祭を執り行い、シーズン中の無事故を祈願。東日本大震災からの復興に向け、「頑張ろう」を三唱して登山を開始しました。

山開きに合わせ、環境省裏磐梯自然保護官事務所が試験的に携帯トイレの導入を実施。職員らが弘法清水小屋付近に仮設テントを設置し、登山者に携帯トイレの使用方法などを説明し、環境保全への理解を求めました。

避難者にラーメン振る舞う

郡山市出身の箭内さんが炊き出し



ラーメンを振る舞う箭内さん(中央右)

郡山市出身のクリエイティブディレクター箭内道彦さんは5月19日、町内長浜を訪れ、炊き出しを実施しました。

「震災の影響で避難生活を送る人たちに、気分転換をしてほしい」という箭内さんの呼び掛けに、都内の飲食店やCM制作会社のスタッフら約30人が賛同。青森しじみラーメン、ギョーザやサラダなど約200食分を振る舞いました。

浪江町から避難している佐藤繁芳さんは「おいしくいただきました。避難生活は一日が長い。こういうイベントがあると気分転換になるし、ありがたい」と話しました。

町の環境保全型農業に栄誉

環境保全型農業推進で優秀賞受賞



表彰状を受け取る宇川副会長(左)

第16回環境保全型農業推進コンクールで優秀賞(全国農業協同組合中央会長賞)を受賞した、町環境にやさしい農業推進会議への賞状伝達式は5月24日、町役場で執り行われ、JA福島中央会の遊佐正弘農業対策部長が宇川副会長に表彰状と盾を手渡しました。コンクールは全国環境保全型農業推進会議の主催で、今回の受賞は猪苗代湖の水質保全活動や優良堆肥製造施設の設置など、同会議の取り組みが評価されたものです。

表彰を受けた宇川副会長は「町民と一体になってやってきた仕事が評価されてうれしい」と話しました。

一層深まる伊那市との交流

伊那市で正之公生誕400年記念事業



保科家の祈願寺、樹林寺の保科正之公頌徳碑の前で記念写真

長野県の伊那市観光協会が主催する「名君保科正之公生誕400年記念事業」は4月29日、伊那市高遠町総合福祉センターで開催され、猪苗代の偉人を考える会の江花俊和会長もパネラーとして参加しました。正之公に縁のある本町と伊那市の交流をさらに深めようと、同会が企画したツアーには会長のほか21人が参加。正之公への理解と交流を深めました。

江花会長にツアーの感想などをまとめていただきましたので、ご紹介します。

伊那市高遠町で行われた「保科正之公生誕400年記念事業」にツアーを組んで参加してきました。親善友好都市である伊那市からは、昨年10月に猪苗代で開催したイベントにも大勢参加していただきました。また、東日本大震災でもいち早く救援物資を送っていただくなど大変お世話になっています。そのお礼も兼ねて、伊那市を訪問しようと猪苗代の偉人を考える会が企画しました。

式典は正之公の石像の前でしめやかにわれ、本町を代表して鈴木幹男副町長と鈴木武喜町議会議長が玉串をささげて正之公の冥福を祈りました。その後のシンポジウムでは、「国家の品格」の著者藤原正彦氏が「日本という国」と題して講演し、「この大震災には保科正之公のようなリーダーが必要」と話しました。「保科正之公の大河ドラマ化を目指して」をテーマにしたパネル討論会では、直木賞作家で保科正之の著書が多い作家の中村彰彦氏、菅家一郎会津若松市長、伊東義人前高遠町長と私の4人がパネリストを務め、NHK大河ドラマ化の早期実現に向けた50万人の署名獲得という目標を確認し合いました。

2日目は、タカトオコヒガンザクラがまだ咲き残る高遠城や保科家の菩提寺など、正之公ゆかりの史跡を案内していただき、さらに知識を深めることができました。本町から参加した22人は、夜の交流会などでも大いに歓迎していただき、伊那市との交流も一段と深まったと思います。秋に猪苗代で開催予定の「生誕400年記念事業」にはぜひお出でいただき、保科正之公の大河ドラマ化に向け、さらに交流を密にしていきたいと思

います。
猪苗代の偉人を考える会 会長 江花俊和

新たな町の交流拠点が開所

まちのえき「まるしめ」がオープン



地場産品などが並ぶ「まるしめ」の店内の様子

「猪苗代まちのえき まるしめ」のオープニングセレモニーは5月10日、同所で開催され、関係者ら約30人が出席しました。空き店舗利活用事業の一環として、株式会社まちづくり猪苗代(江花祥雄代表取締役)が昨年4月に旧小林書店に開設した「こぼほん」が東日本大震災の影響で使用できなくなったため、マルシメ商会の協力を得て移転、再オープンにこぎ着けました。

セレモニーでは江花社長が「地域の皆さんが気軽に立ち寄れる場所として利用してほしい」とあいさつ。津金町長、鈴木武喜町議会議長らが祝辞を述べた後、テープカットで開所を祝いました。

楽しい人生を送るために

人口 1万6417人
 65歳以上 4838人
 高齢化率 30%
 このうち介護認定を受けている人は857人で、そのうち実際に介護サービスを利用している人は623人です。サービスごとの利用者数を簡単に紹介いたしますと

★居宅介護サービス受給者(自宅サービスを利用する人) 425人
 ★地域密着型サービス受給者(認知症対応型共同生活介護IIグループホームに入所している人等) 38人
 ★施設介護サービス受給者(特別養護老人ホームや老人保健施設入所者) 160人
 となっております。
 (2011年3月末現在)

今月は、高齢社会をうまく乗り切るために、介護予防について考えたいと思います。

まず、本町の現状について、簡単にお知らせいたします。

介護の認定を受けてサービスを受けている人は、65歳以上人口の12・8%となっています。介護が必要な人が必要なサービスを受けることは、本人の健康にいいだけではありません。ふだん介護をする家族の負担も軽くなります。しかし、介護サービスを受けずに、できるだけ自立し、自分の趣味や生きがいをもって生活していくことができれば、こんなに喜ばしいことはありません。

介護予防とは

皆さんは、介護予防という言葉を知りましたか。介護予防とは、読んで字のごとく、介護が必要な状態にならないために、心身の衰えを予防・回復しようという取り組みのことです。

本町では、対象者を大きく二つに分けて、介護予防事業に取り組んでいます。

元気ハツラツにこころクラブ



和気あいあいと楽しみながら運動機能の回復を図ります(写真は昨年の介護予防教室の様子)。

体の機能が少し弱くなってきた、近い将来介護サービスを利用する可能性があります。65歳以上の皆さんが対象です。この教室の主な目的は、運動機能と口腔機能の向上です。25項目のアンケートを実施し、そこから対象になる人を選んでお話ししています。アンケートの結果によっては、地域包括支援センターの職員が訪問させていただきます。

介護予防運動教室

65歳以上の人ならどんなでも参加できます。
 (カメリーナ・川桁体育

誘いすることもありますが、アンケートを受けた人以外にも、相談などを通して教室に参加していただくことができます。気軽に参加してください。通所による集団的な教室として開催しており、無理なく参加していただけるような内容にしています。

館・中ノ沢体育館の各体育館で月に1回開催)健康運動指導士を中心に、毎回さまざまな運動メニューに挑戦します。運動教室という名前ですが、決してハードなトレーニングではありません。みんなで和気あいあいと話をして、時には笑い、いろいろな人と交流をしながら運動を楽しむ教室です。

※両教室とも、希望する人には送迎の車を用意しています(要相談)。

何事も、早期発見・早期対応が大切です。体の機能の衰えを感じてきたら、迷わずに保健福祉課に相談してください。少しでも心身の状態を回復していただき、楽しい人生を送ってほしいと願っています。

▼問い合わせ先
 保健福祉課 高齢者福祉業務 ☎(62)2115



お父さん、お母さんと一緒にポーズ

「健康に育って、将来は人の役に立つような人間になってほしい」お父さんとお母さんはそう話しています。

阿部 なな子 ちゃん

平成 22年 1月 生まれ
 ～芦原 だいごう 大三さん・智美さん夫婦の長女

1歳5カ月を迎え、だんだんと言葉を話し始めたなな子ちゃん。「くっく」「どーぞ」など、自分の気持ちを表すようになってきました。身の回りにあるものを何でもおもちゃにして遊ぶのが得意です。「椅子の上によじ登ったり、階段を上がつたりと、目が離せないですね」と話すのは父、大三さん。「おばあちゃんからプレゼントされた、お気に入りの長ぐつを履いて歩くのが大好きですね。公園みたいな広い場所に行くとき、1人でずんずんと歩いていってしまうんです」と笑うのは母、智美さん。

そんななな子ちゃんはお客さんの間でも人気者。「菓子処 豊玉」の看板娘として、今日も笑顔を振りまいています。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
 ☎(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

100年以上の歴史があり、歌舞伎とも深いつながりを持つ伝統的な舞踊、花柳流。その踊りを町内の行事などで披露しているのが花柳流みほ乃会の皆さんです。15人の会員が月4回、学びなで稽古に励んでいます。

「震災後、踊りの練習を続けていいのかと迷う時もありました。しかし、沈んでいた会員の心を慰め、前向きな気持ちにさせたのは、他ならぬ踊りでした。こんな時だからこそ、被災した皆さんに踊りを見ていただき、元気を少しでももらいたい」と寿美衡師匠は話します。

同会では、8月に開催予定のチャリティー舞踊会に向け、会員の皆さんが心を一つにして練習に励んでいます。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。
 ☎(62)2111

はなやぎりゅうの花柳流みほ乃会

(花柳寿美衡師匠)



(写真左) 舞踊で被災者を元気づけたいと話す寿美衡師匠
 (写真右) 老若男女、それぞれのレベルに合わせた稽古をしています。新規加入や見学を希望する人は、学びなまで



「元気を出して頑張ろう」と皆さんでガッツポーズ



体験交流館ニュース

■名君、保科正之公について学ぼう ～歴史講座、山形方面視察研修のご案内～

本年度の歴史講座は、保科正之公生誕 400 年を記念し、現在にも脈々と受け継がれ続ける正之公の教学の精神やその政策について学習します。また、高遠藩から奥州最上藩に移封された正之公の足跡を訪ねる山形方面視察研修など、全6回の講座で学びます。

※6月30日(木) 申込締切。

●内容

①7月7日(木) 午前9時30分～11時30分
保科正之公の教学の精神について

講師：会津藩校日新館館長 宗像 精 先生

②8月9日(火) 午前9時30分～11時30分
保科正之公の民生政策について

講師：会津史学会副会長 笹川 寿夫 先生

③9月17日(土)

奥州最上藩(山形県)視察研修

講師：上山市立図書館館長 片桐 繁雄 先生

④10月21日(金) 午前9時～正午

県立博物館秋の企画展 生誕400年記念

「保科正之の時代」を受講

講師：県立博物館学芸員 阿部 綾子 先生

⑤11月10日(木)

会津史談会主催「歴史文化講演会」を受講

講師：県立博物館学芸員 阿部 綾子 先生

⑥11月22日(火) 午前9時30分～11時30分

土津神社の碑文の解説

講師：県立博物館学芸員 高橋 充 先生

●定員：30人(成人が対象となります)

●参加料：無料 ただし③と④は自己負担あり
(食事代・拝観料・入館料など)

■山野草展示会および書画の会 作品展示会

猪苗代山野草会および書画の会作品展示会は5月21日、22日の両日、学びいな学びいなホールと展示ホールで開催されました。

200点を越える山野草の鉢植えや力作が揃った書画の会の作品を鑑賞するため、昨年を上回る2,000人以上が会場を訪れ、大盛況の2日間となりました。同会場では、収益金の一部が東日本大震災の義援金として寄付されるチャリティー販売も実施され、こちらも好評を博しました。



■保科正之公の歴史講座が会津若松市の 県立博物館でも開催されます

会津藩主・保科正之公は、江戸時代の名君として広く知られていますが、実際にはどのような人物で、どのような事績を残したのでしょうか。生誕400年を記念して「保科正之に学ぶ」を共通テーマに、県立博物館歴史分野の学芸員の皆さんが、毎回違った視点から保科正之の像に迫ります。お気軽にご参加ください。

●6月18日(土)

保科正之シリーズ 「日本書紀」の研究

講師：県立博物館学芸員 佐藤 洋一 先生

正之公に関する文献のうち、「日本書紀」に関する研究をたどります。「日本書紀訓蒙抄」「日本紀神代聞書」「神代巻秘釈」など。

●6月25日(土)

保科正之シリーズ 「会津慶長地震を乗り越えて」

講師：県立博物館学芸員 高橋 充 先生

正之公が誕生した慶長16年(西暦1611年)、会津地方で大地震が発生しました。この時の地震の様子と、最終的には正之公の治世まで続いた復興への軌跡を紹介します。

●場 所：県立博物館(会津若松市)講堂

※事前の申し込みは不要です。無料。

●時 間：午後1時30分～午後3時(各回共通)

●お問い合わせ：県立博物館 ☎(28)6000(代表)

■町民ハイキングのご案内

●日 時：7月2日(土) 集合 午前6時

出発 午前6時30分 帰館(予定) 午後6時

●行き先：南会津町 高清水自然公園

●参加料：3,000円
(バス代ほか)

●定員：120人
(定員になり次第、締め切ります)

●持参品：昼食、雨具、着替え、ごみ袋など

●申し込み方法：

6月11日(土)新聞

朝刊折り込みの町民ハイキング申込書に記入し、参加料を添えて直接当館に申し込んでください。※電話、FAXでも申し込みできますが、来館者を優先とします(申込書は当館にも用意しています)。

●受け付け開始：6月13日(月) 午前9時から
(それ以前の申し込みは受け付けできません。代理の申し込みは、1人につき5人までとします)



昨年の町民ハイキングの様子

猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■第10回 いなわしろ民話祭り

楽しい話、昔の暮らしの話、妖怪の話、磐梯山や猪苗代湖にちなんだ話、猪苗代に伝わる話などなど…。ゲスト出演として会津漫才や郷土芸能などもあります。

●日時：7月18日(月)

午後1時30分～午後4時30分

●会場：学びいな

●料金：無料

●主催：いなわしろ民話の会

●問い合わせ：☎080-3146-7130(鈴木)



■麓風会絵画展

町内の絵画愛好者なども参加している団体、麓風会の絵画展が開催されます。水彩画や油絵で風景や人物を描いた作品が展示されます。

●日時：6月20日(月)～6月26日(日)

午前9時～午後7時

(初日は午後1時から、最終日は午後3時まで)

●会場：学びいな展示ホール

●料金：無料 ●主催：麓風会

県男女共生相談室からのお知らせ 相談専用電話 ☎0243(23)8320

県男女共生センターでは、女性も男性も自分らしく生きていけるように、日常生活の中で直面するさまざまな悩みや問題を解決するためのお手伝いをしています。

東日本大震災の影響によるストレス、避難生活での悩みなどの相談もお受けします。

～ 一般相談 ～

家族・夫婦・友人のこと、学校・職場・地域での悩みなどの相談をお受けします。配偶者・恋人からの暴力(DV)の相談も受け付けます。

●相談日時(面接は要予約) 月曜日は定休

水曜日 午後1時～午後5時、午後6時～午後8時

その他 午前9時～正午、午後1時～午後4時

～ 法律相談 ～

DV、離婚など夫婦、男女間の問題、親権、相続、金銭問題など、弁護士が相談をお受けします。相談無料、秘密は厳守します。

●相談日時(要予約)

第1・4水曜日 午後1時30分～午後3時30分

～ こころの相談 ～

鬱・ストレス・イライラ・不眠…気になる症状があるのに、家族や友人には相談しにくいし、病院に行くのはちょっと気が引ける。そんな人の悩みや相談に精神科の医師がお答えします。

●相談日時(要予約)

第2水曜日 午後1時30分～午後2時30分

～ 女性のためのカウンセリング ～

DVや性暴力被害など、傷ついた経験を持つ女性のためのカウンセリングです。女性臨床心理士が悩み解決のお手伝いをします。

●相談日時(要予約)

第3金曜日 午後1時30分～午後2時30分

ノルウェーでは、会社などの女性管理職の割合が世界一で、全体の40パーセントを超えている。以前は低かったが、国の半ば強制的な取り組みが功を奏し、およそ10年で今のレベルに達した。現在も女性が活躍し、業績を大幅に伸ばしている。

社会の中で、女性の活躍度が高ければ高いほど国の経済成長率や競争力も高い、という米国ニューヨークの経済研究所が出した最新データがある。また、わが国でも女性登用を力を入れる企業などが確実に増えてきている。

有能な女性の才能を埋もれさせずに、十分に力を発揮させるためには、出産や子育ての際に女性の大半が退職してしまうような職場の雰囲気や体制を、思い切った変えてしまうことだ。

①一旦退職しても、子育てが一段落した後は元の仕事にスムーズに復帰できる。②午後4時には周りに気兼ねなく退社できるなど、子育てをしながら会社勤めが可能な勤務条件を工夫する。③女性管理職を積極的に登用する―など、従来の男性的価値観の大幅な転換を図ることが、今後極めて重要である。

反面、心配なのは、草食系などの言葉に象徴される男性の元氣喪失傾向である。男女ともに元氣であるのが一番いいに決まっている。

地震・原発事故後の復旧、復興期に当たり、特に思うことである。(土屋)

教育委員会コラム 第十四回

選挙

町長選挙および町議会議員補欠選挙

任期満了による猪苗代町長選挙と猪苗代町議会議員補欠選挙が、左記のとおり執行されます。

▼選挙名

猪苗代町長選挙及び猪苗代町議会議員補欠選挙

▼選挙期日 6月26日(日)

▼告示日 6月21日(火)

▼期日前投票実施日 6月22日(水)～25日(土)

農業委員会委員一般選挙は7月10日

▼選挙名 猪苗代町農業委員会委員一般選挙

▼選挙期日 7月10日(日)

▼告示日 7月5日(火)

▼問い合わせ先 町選挙管理委員会

☎(62)2111



町の未来を決める大切な選挙です。棄権せず投票しましょう

【情報公開、個人情報開示の実施状況】

町では、「猪苗代町情報公開条例」および「猪苗代町個人情報保護条例」の規定に基づき、昨年度の実施状況を次のとおり公表します。

【22年度の情報公開の実施状況】

種別	請求件数	決定区分	内容
情報公開請求	6件	非公開	建設課発注工事の金入り設計書一式(平成21年度 工第59号)
		非公開	建設課発注工事の金入り設計書一式(平成21年度 工第60号)
		非公開	建設課発注工事の金入り設計書一式(平成21年度 工第61号)
		非公開	建設課発注工事の金入り設計書一式(平成22年度 工第2203号)
		非公開	上下水道課発注工事の金入り設計書一式(平成22年度 特環第2202号)
		非公開	上下水道課発注工事の金入り設計書一式(平成22年度 公共第2208号)
任意公開申出	2件	公開	複写機賃貸借に係る見積合わせ結果
		公開	複写機賃貸借に係る見積合わせ結果

【22年度の個人情報開示の実施状況】

種別	請求件数	決定区分	内容
開示請求	2件	開示	平成23年度職員採用候補者試験(行政職)一次試験の得点および順位
		開示	平成23年度職員採用候補者試験(行政職)一次試験の得点および順位

●問い合わせ先 総務課 秘書広報業務 ☎(62)2111

子ども

3・4歳は日本脳炎の接種時期です

町では、新ワクチンによる日本脳炎1期の定期接種を昨年度から再開しました。日本脳炎の標準接種年齢は3歳です。子どもが3歳になったら、早めに接種を受けさせましょう。

今年度4歳の子でも1期の初回接種(2回)を受けた子ども

もは、2回目の約1年後に1期の追加接種を受けさせましょう。今年度4歳で、まだ1度も接種をしていない子どもには速やかに接種を受けさせてください。

▼接種料金

町が負担します。

▼接種方法

医療機関での個別接種になります(最近転入したばかりなどで対象となる子どもがいる人は、町保健福祉課まで連絡してください)。

▼問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり業務

相談

人権・行政合同相談会を開催します

町では次の日程で人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。いじめやDVなどの人権問題や法律についてこの機会にぜひご相談ください。

があります。10月以降の制度の詳細い内容については、決まり次第お知らせします。

▼提出・問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉業務

☎(62)2115

掲示板

告示

・第53号「公売通知書の公示送達について」(税務課収納業務)

▼開催日時

7月6日(水)

午前10時から午後3時

▼場所

役場3階 日本間

▼その他

相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報業務

☎(62)2111

公告

・第15号「猪苗代町農業振興地域整備計画変更」

(農林課農林業務)

・第16号「インターネット公売の公告について(第1号)」

(税務課収納業務)

・第17号「平成23年度における公共工事発注予定情報について」(企画財務課財務業務)

・第18号「農用地利用集積計画について」

(農業委員会農地業務)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

町乗合タクシーからのお知らせ

町乗合タクシーの運行開始から約2カ月が経過しました。4月中は、述べ139人が利用しました。お買い物や通院などにぜひご利用ください。

○乗継ヤードの変更について

町乗合タクシーの乗継ヤード「こぼほん」は、地震による建物損壊のため「如風庵」(字新町)に一時変更してあります。この度「猪苗代まちのえき まるしめ」(字新町)がオープンしたことに伴い、乗継ヤードをそちらに変更します。

乗継ヤード 変更前「如風庵」
→変更後「猪苗代まちのえき まるしめ」



○予約受付時間について

乗合タクシーの予約は、土・日・祝日も受け付けます(運行は平日だけです)。

受付時間は、午前10時から午後4時までです。予約は、利用する前日の午後4時までに受付センター(☎62-3335)に電話で申し込んでください。

●運行に関する問い合わせ先

企画財務課 ☎62-2112 FAX 62-5175

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成23年4月30日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成23年	平成22年	増減	増減率%
猪苗代町	23	37	-14	-37.8	
磐梯町	7	11	-4	-36.4	
裏磐梯	5	3	2	66.7	
計	35	51	-16	-31.4	

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	23年	22年	23年	22年	23年	22年	23年	22年
窃盗犯計	17	30	7	9	5	3		
空き巣								
金庫破り								
事務所荒らし								
出店荒らし								
倉庫荒らし								
侵入盗その他	2	2	1		1			
置き引き				1				
車上ねらい			1	1		1	1	
部品ねらい								
脱衣場ねらい	1	3						
自販機ねらい		1						
万引き	5	8						
職場ねらい		2						
さい銭盗								
畑荒らし								
スキー								
スノーボード盗	7	4	2	7	1	2		
非侵入盗その他	1	9	3	1	2			
自動車盗								
オートバイ盗								
自転車盗	1							
その他の乗り物盗								
暴行・傷害			1					
詐欺・横領	3	2						
遺失物等横領			1					
器物損壊	1	2		1				
その他の刑法犯	2	1		1				
総計	23	37	7	11	5	3		
増減			-14	-4				

◎4月に入り、侵入窃盗被害・不審者の住居侵入事案が発生しています。

◎家にいてもきちんとカギをかけ、不審者を発見したら警察署までご連絡ください。

2 交通事故状況

死亡事故	0	0	0	0	0	0
増減	0		0		0	
人身事故	29	39	2	6	1	3
増減		-10		-4		-2

◎緑豊かなこの季節は、風景やカーナビなどに目を奪われるため、追突や信号見落としによる事故が多発します。風景は、眺望ポイントや目的地についてから、ゆっくりと楽しんでください。

募 集

出入国管理の最前線で活躍する警備官を募集

仙台入国管理局では、出入国管理の第一線で活躍する入国警備官を募集しています。

●受験資格

昭和63年4月2日から平成6年4月1日生まれの人

●受験申込受付期間

インターネットの受付期間
7月19日(火)～7月26日(火)

郵送または持参の受付期間

7月19日(火)～8月2日(火)

●1次試験日 9月25日(日)

●1次合格発表 10月12日(水)

●2次試験日 10月18日(火)、19日(水)

●最終合格発表

11月15日(火)

◎仙台入国管理局 総務課

☎022(256)6076

人事担当 長田・片桐・水島

会津大学短期大学部が生涯学習を応援します

会津大学短期大学部では、小学生から一般の人まで、広く生涯学習の機会を提供するため、教員を派遣し、希望に応じた講演会を実施する「派遣講座」をこどもも実施します。

講座では、人生に大変役立つ専門知識や幅広い教養などを分かりやすく説明します。

講座のテーマは教育、経済、地域・地場産業、コンピューター・情報化社会、経営学・会計学、建築・デザイン、工芸、栄養・健康、食品・調理、社会福祉、保育および教養に関する講座など74講座を準備しました。皆さんのお申し込みを、教職員一同心からお待ちしております。

詳しくは、下記まで問い合わせください。

◎会津大学短期大学部地域活性化センター

☎(37)2300

テクノアカデミー会津が技術・技能講習実施

テクノアカデミー会津では、皆さんの職業能力向上のため、次の日程でテクノセミナーを開催します。

受講を希望する人は、下記に問い合わせください。

◆第2種電気工事士(実技)コース

低圧屋内配線工事の基礎的技能を学び、第2種電気工事士の実技試験に合格可能な知識と技能を修得する。

●実施予定日 7月4日、5日、7日、11日、12日、14日(6日間)

●講習時間 午後6時～午後9時

●定員 12人 ●受講料 4,300円

●テキスト代 15,000円程度

●申込締め切り日 6月23日(木)

◆パソコン表計算基礎

表計算ソフトMS-Excel 2007を使用し、パソコンの表計算処理、グラフ作成、印刷、編集などの基礎知識と技能を修得する。

●実施予定日 7月25日、26日、

28日、8月1日(4日間)

●講習時間 午後6時～午後9時

●定員 15人 ●受講料 3,100円

●テキスト代 2,100円

●申込締め切り日 7月14日(木)

◎県立テクノアカデミー会津

〒969-3527 喜多方市塩川町御殿場4丁目16番地

☎0241(27)3221

FAX 0241(27)3312

H P <http://www.tc-aizu.ac.jp>

お知らせ

いじめや体罰などから子どもたちを守りたい

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、6月27日から7月3日までの1週間を、全国一斉「こどもの人権110番」強化週間と決めました。この間、いじめ、嫌がらせ、虐待や体罰など、子どもの抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談には人権擁護委員と法務局職員が応じます。気軽に相談してください。

●開催日時

6月27日(月)～7月3日(日)

午前8時30分から午後7時まで
※7月2日(土)・3日(日)は午前10時～午後5時

●電話番号 (フリーダイヤル)

☎0120(007)110

●その他 相談無料・秘密厳守

◎福島地方法務局 人権擁護課

☎024(534)1994

「しあわせ金婚夫婦」に表彰状と記念品を贈呈

県老人クラブ連合会と(株)福島民報社では、県内で結婚50年の金婚式を迎えた夫婦に表彰状と記念品を贈呈しています(老人クラブの会員でなくても申し込みできます)。

福島民報新聞紙上に名前と年齢が

掲載されることをご了承ください。

●表彰該当者 昭和36年12月31日までに結婚した夫婦。

●受付期間 6月30日(木)までに町社会福祉協議会に申し込み

詳しくは下記まで問い合わせください。

◎町社会福祉協議会 ☎(62)5168

学びいなかでホテルと星空を楽しむ観賞会開催

いなわしろに蛍を呼び戻そう会では、下記の日程で蛍・星空観賞会を実施します。第1回目は主に源氏ボタル、第2回目は主に平家ボタルを観賞します。

皆さんの参加をお待ちしています。

●開催日時

第1回 6月25、26日(土、日)

第2回 7月16、17日(土、日)

午後7時30分～午後9時

●集合場所 学びいなか研修室

●参加料 無料

◎いなわしろに蛍を呼び戻そう会

事務局 小橋 ☎(64)2509

戦地でのご労苦に対し総理大臣名の書状贈呈

先の大戦で、外地など(事変地の区域または戦地の区域)に派遣され、旧日本赤十字社救護看護婦や旧陸海軍従軍看護婦として戦時衛生勤務に従事した皆さん(慰労給付金受給者は除く)に対して、そのご労苦に報いるため、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

※請求期限が2年延長され、25年3月31日までになりました。

詳しくは下記まで問い合わせください。ご本人またはご家族などからの連絡をお待ちしています。

◎〒100-8926

東京都千代田区霞が関2-1-2

総務省大臣官房総務課管理室

業務担当 ☎03(5253)5182 (直通)

FAX 03(5253)5190

プライバシー保護のため、ホームぺージ掲載分の
メッセージは削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出ください。

善意をありがとう

- 教育振興事業協力金として 東京書籍株式会社 様 500,000円
- 社会福祉事業協力金として 町内の匿名の人から 50,000円

○このほか多くの企業、団体や個人などから災害義援金や災害復興支援協力金をいただいておりますが、後ほど別な記事で紹介いたします。

町の人口

23年5月1日現在の現住人口

人口 15,721人

世帯数 4,932戸

出生 14人 転入 66人

死亡 12人 転出 50人

- 町県民税 第1期分
- 今月の納期
- 下水道使用料 6月分
- 下水道受益者負担金 第1期分

編集後記

▼6月を目前に控えた週末、こどもも運動会のシーズンがやってきた。子どもたちが一生懸命に頑張る姿を見るのは楽しい。しかし、長瀬以外の5校が同時に開催するので、この日は朝から取材に走り回ることになる。まるで自分も運動会に参加しているようだ。

今月号の表紙は翁島小学校の親子競技。小学校の高学年にもなると、子どもたちも大きく成長している。二人三脚で子どもにリードされたり、おんぶをすると想像以上に重かったりとお父さん、お母さんたちも大変そうだが、親子で協力して競技をしていると、自然とみんな笑顔になる。5校を回る都合上、私が翁島小学校で取材したのは、この競技だけ。しかし、撮影した写真には、親子の楽しそうな笑顔がふれていた。

心残りは、先生たちの「ラブ注入」が撮影できなかつたことだ。(大坂)

みんなの美術館

6月は千里小学校のお友達の作品です

Our Museum



「おひさま にここに」

虹色のおひさまと友だちのおひさま、周りはわたしの好きなハートマークです。おひさまのまわりを、いろいろな色で塗ったところがお気に入りです。



後藤ありすさん(1年)



書道「交流」

「交」の字の左はらいと「流」という字の最後の折れとはねに気をつけて書きました。習字を書くのは好きですが、上手に書くのはなかなか難しいです。



上野 未来さん(5年)

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No. 169

厚揚げとアスパラガスの煮物 (骨粗しょう症予防メニュー)



【材料】4人分

厚揚げ 200g^ア・春雨 100g^ア・アスパラガス 6本・小松菜 1束・ニンジン(小) 1本・干しシイタケ 12g^ア・長ネギ 2本・酒 大さじ 1/2・ごま油 小さじ 1

【作り方】

① 春雨はぬるま湯に、干しシイタケはたっぷりの水につけて戻します。干しシイタケの戻し汁は煮物に使うのでとっておきます。

② 材料をそれぞれ食べやすい大きさに切ります。

③ ごま油を熱した鍋で厚揚げを炒め、全体に油が回ったらニンジン、アスパラガス、干しシイタケを加えてさらに炒めます。酒を入れ、①の戻し汁をたっぷり加え中火で15分煮込みます。

④ 春雨、長ネギ、小松菜を加え強火で煮立て、春雨が透き通ったら汁ごと器に盛りつけ出来上がり。

※好みで塩を少々ふってもよいでしょう(少々とは、「親指と人差し指でつまんだ量」で、およそ1g^アです)。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 324kcal^ア、タンパク質 25g^ア、脂質 10.2g^ア、カルシウム 265mg^ア、炭水化物 33.2g^ア、食物繊維 6.5g^ア、塩分 0.2g^ア

■一口メモ■

厚揚げと小松菜はカルシウムが豊富な食材です。また、干しシイタケに含まれるビタミンDがカルシウムの吸収を助け、骨を丈夫にします。